

パース通信

パース日本人学校（帯広市立栄小学校）No.2

畠中美佳

みなさん、お元気ですか？

帯広もあつくなってきて気温が30度をこしているそうですね。

オーストラリアは今、冬です。4学期制のパース日本人学校は7月から2週間のホリデー（冬休み）に入りました。今日はパース日本人学校について紹介したいと思います。

意外なお客様

パース日本人学校は、時々、びっくりするお客様が来て講演してくださいます。

1学期は元フィギュアスケートのオリンピック選手、佐藤有香さんとジェミー・アボット選手が来



てくださいました。佐藤有香さんは、栄小学校出身の清水宏保選手と同じオリンピックに出られた選手です。先日引退された浅田真央さんのコーチの娘さんがわかりやすいかもしれません。アボット選手は佐藤有香さんの教え子でアメリカの選手です。全米大会を2回制したオリンピック選手です。

地元スケートクラブの招待でオーストラリアに来られ、日本人学校にも講演に来てくださいました。子供たちの

「緊張しないためにはどうしたらよいですか。」の質問に「緊張はいつでもします。今でもします。でも、緊張は悪いことではありません。緊張しているということは、集中している、集中力が高まっているということです。大事なことは、緊張した時に自分がどのような状態になるのかを理解し練習していくことです。」と言っていました。「緊張したから失敗しちゃった。」とよく言ってしまう自分はとても反省しました。





また、札幌からアイヌの音楽家の方が来ました。トイ君です。アイヌ音楽をパース日本人学校の子供たちに披露してくれました。

ムックリは、聴かせてもらったことはあるのですが、トンコリ（ギターのようなもの）はじめてだったので新鮮でした。そのことを、あとはなおびひろ「帯広にはムックリの名人が多かったからね。」と言っていました。

オーストラリアに来て北海道の方と会えたのは嬉しかったです。

物価が高い！

オーストラリアは、物価が高いです。外食でも、T s k e o u t できるような店のハンバーガーとコーヒーで 2000 円ぐらいします。買い物がわからなかつた最初のころは暮らしていけるか不安になりました。そんな、物価高のパースでみんなこんな工夫をしています。

学習では

「新聞を作ろう」の単元の壁新聞づくりでは、紙が高いことと、特別な大きさの紙は手に入りにくいことをなどから A 3 の紙を貼り合わせて模造紙のようにつくりました。

そんな中で、なかなかの出来だと思いませんか？題名の「ありのす」は、1 つの穴から入って色々な部屋があるありの巣のように一枚の紙に色々な記事が載っているからだそうです。



生活では

オーストラリアのスーパーでは 1 週間同じものを安売りしています。特に 2 大スーパーの Coles と Woolworths は食料品と日用品がそろうのでこの 2 つの広告は要チェックして買い物します。オーストラリアの広告は、日本のように新聞などに折り込まれているのではなく、

スーパーの入り口に平づみされています。

広告を見て買わないと、1.2 リットルのジュース 2 本で 1000 円マスク 1 枚 300 円します。そうやって買っても液体洗剤(日本なら 400 円ぐらいの大きさのもの)が 1000



円します。

どこの国でも、おこなわれていると思いますが、オーストラリアでもオーストラリアの教育法律に日本人学校もあってるかどうかのチェック「レジストレーション」があります。

オーストラリアの教育と

子供の教育に関する法律が細かくあるオーストラリアの中でも西オーストラリアは厳しいらしく昨年度までに作ったものを今年英語科と事務の現地採用の先生と校長先生で手直しをしながら提出していました。ただ、提出書類をもっとださないといけなくなったらしく今年きた私も 2 学期からは自分の教科を中心に書類を作成しなければいけないそうです。ただ、日本のように「作成見本はない。」と担当の先生に言われたので、周りの様子を見ながら作成することになりそうです。これも先輩方に聞いた日本人学校の難しさだと感じます。英語の苦手な私は今からドキドキしています。

また、オーストラリアの教育もしっかりと理解し行っていることを知ってもらうため、1 学期の終業式の放課後に研修会が行われました。オーストラリアの性教育犯罪の防止についての講義が行われました。

